

茶草場

農法

茶園の横に生えるススキやササ。掛川に住んでいると当たり前に見る光景。可もれませんが、このような草地は。今では希少となっています。

この「草」を使った伝統的な農法「静岡の茶草場農法」が世界農業遺産に認定されて、10年経ちました。「高品質な茶生産と生物多様性の保全が両立した世界的に希少な事例」と評される農法に改めてスポットライトを当て、その価値をお伝えします。

Check!

茶草場農法のここがすごい

1 高品質な茶栽培

茶園に茶草を投入することで、雑草の発生や土の乾燥を抑え、草はやがて分解され有機質肥料となります。こうした効果が高品質な茶栽培につながっています。

2 希少な動植物のすみか

人の手が入ることで、様々な生物が生息できる環境になります。茶草場には720種以上の動植物が生息していて、固有種や絶滅危惧種も確認されています。

3 環境に優しい

茶草場農法の茶園は炭素貯留量が高くなります。二酸化炭素を吸収して育つ茶草を刈り取って敷くため、二酸化炭素の削減につながっています。

世界農業遺産ってなに？

次世代に継承すべき伝統的な「無形の農林水産業システム」を認定し、その保全と持続的な利用を図るもの。平成14年に国連食糧農業機関(FAO)が創設し、世界26カ国86地域、日本では15地域が認定されています。(R5.11.10現在)

日本にある世界農業遺産の例

熊本県阿蘇地域

阿蘇の草原の維持と持続的農業



大分県国東(くにさき)半島宇佐地域

クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環



静岡県わさび栽培地域

静岡水わさびの伝統栽培
一発祥の地が伝える人とわさびの歴史



静岡わさび農業遺産推進協議会



世界農業遺産
静岡の茶草場農法

高品質なお茶を栽培するための農法

掛川市を含む、静岡県の4市1町(菊川市・島田市・牧之原市・川根本町)では、お茶の栽培を「静岡の茶草場農法」という伝統的な農法で行っています。秋から冬にかけて、茶草と呼ばれるススキやササなどの草を刈り取って乾燥させ、約10センチに裁断してお茶の木の畝(うね)間に敷く方法で、お茶の味や香りの向上など、高品質な茶栽培につながっています。

また、栽培面だけでなく、そこをすみかとする動植物にとっても良い環境となります。定期的に草を刈ることで地面に日が当たり、生命力の強い草だけが生き残ることもなくなるため、地域固有のバタ「カケガワフキバタ」など720種以上が茶草場に生息しています。

茶草場のように、人の手で維持、管理していた「半自然草地」が、以前は日本中にあつたといえます。しかし、農業や生活の近代化などで減少し、すみかとする多くの動植物も数を減らしています。

認定から10年

こうした取り組みを保全し、持続していくため、平成24年に4市1町で「静岡の茶草場農法」世界農業遺産認定への推進協議会が掛川市役所で設立。世界農業遺産(GIAHS)を認定する国連食糧農業機関(FAO)の現地調査や、川勝平太静岡県知事、松井三郎前掛川市長らによるプレゼンなどを経て、平成25年3月に認定証が交付されました。それから10年が経った令和5年10月、掛川グランドホテルで認定10周年記念式典が開かれました。冒頭、川勝知事が「何とかおいしいお茶を」という思いが、結果的に生物の多様性を保全する取り組みになってい



茶草場に生息する固有種のカケガワフキバタ。羽が退化して飛ぶことができないバタです。

茶草場農法を

知ろう

With 中部電力パワーグリッド

高品質なお茶を生産する茶草場農法では、通常の栽培に加え、草を刈って敷き込む作業を行います。労力を要するため、推進協議会ではボランティアを受け入れる際の支援を実施しています。

す。今回は、毎年作業応援ボランティアに参加する中部電力パワーグリッドの皆さんと一緒に、茶草場農法を紹介します。



茶園の横に生ずるススキやササなどを刈ります。傾斜地が多く、車が入れないようなところも。



刈った草を束ねて乾燥させます。円錐状に積んだ状態のものをかっぱしといい、粟ヶ岳の頂上にある山頂休憩所「粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」の愛称(かっぱしテラス)にもなっています。



機械を使い、乾燥させた草を約10cmに裁断します。



お茶の木の根元や畝間に敷きます。

Voice 作業を経験して

中部電力パワーグリッド
掛川支社島田営業所
大石一颯(いっさ)さん

お茶摘みの体験しかしたことがなく、初めての作業でした。普段飲んでいるおいしいお茶は、できる前の行程でこんなに忙しい作業があるということを知りました。



茶草場農法のお茶を採ろう！

茶草場農法の実践農家が生産したお茶には、茶草場の管理面積に応じた認定シールがつきます。茶園面積に対する茶草場の管理面積が50%

以上だと三つ葉で表示されています。お茶を買う際には、このシールを探してみてくださいはいかがでしょうか。



JA掛川市茶直売所 お茶処いっぷく

掛川市弥生町234



新鮮安心市場さすが市内にあるお茶の直売所。JA掛川市管内で生産された茶葉のみを使用しています。

掛川茶ラテ

茶草場農法の茶葉を使用した煎茶ラテ。抹茶ラテとはひと味違った深みがあります。

おすすめ

世界農業遺産
【静岡の茶草場農法】
掛川東山茶
なでしこ

生産量は多くありませんが、みる芽の濃厚な味わいが楽しめます。



東山いっぷく処

掛川市東山1173-2



掛川市東山の粟ヶ岳山麓「茶文字の里」にある地域密着のお店。地元で製造されたこだわりの東山茶の情報発信基地でもあります。

東山茶花巡
リーフティー
はなめぐり

若葉の香りと強い緑が特徴。渋みほんのりの深蒸し本流です。

おすすめ

東山茶花時
ティーバッグ
はなとき

深蒸しらしい香りと豊かな濃い緑。旨みの中に渋みがすっきり。



継承への取り組み

茶草場農法の維持・継承について、品質を良くするためとはいえ、手間のかかる作業が茶農家の負担となっていることも事実です。協議会が認定する実践者数は、平成28年に減少に転じ、令和3年度は407戸に低下しています。また、茶園面積や茶草場面積、新規就農者も減少しています。

ます。

この貴重な農法、仕組みを次世代に継承していくため、協議会では販売力の強化に取り組んでいます。慣行農法のお茶と差別化を図るため、商品につける「生物多様性保全貢献度表示シール」(通称認定シール)を販売。経営茶園面積に対する茶草場の管理面積に応じて3ランクを設け、茶草場農法で生産されたお茶であることを表示できるようにしています。また、認知度向上に向け、応援ロゴマークを作成し、商品や製作物などへの利用を促進しています。今後も、茶草場農法の理解促進を進めていく取り組みが求められます。



掛川グランドホテルで開かれた「認定10周年記念式典」で挨拶する川勝知事。

る」と挨拶し、開催地として久保田崇掛川市長が「みんなに愛されているお茶。世界中に良さが広がれば」と話しました。式典では、講演やパネルディスカッションなどが行われ、生物多様性の保護や観光資源としての活用方法などが話し合われました。



世界農業遺産
静岡の茶草場農法

茶草場農法をPRする応援ロゴ。



生物多様性保全貢献度表示シール(通称:認定シール)。